

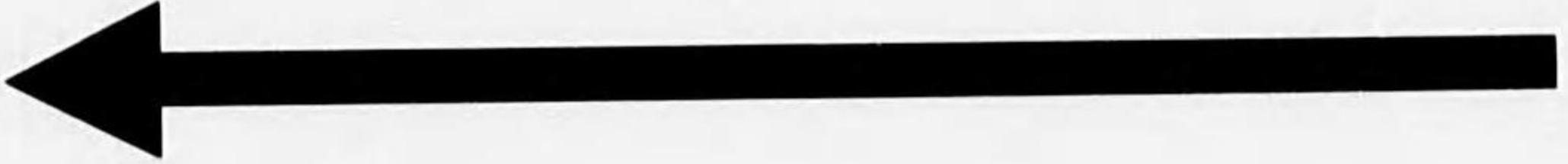
生産増強の問題  
東方問題研究所調査部編

509.1-To24ウ  
1200500744667

509.1  
1024



始



759

917  
435

資料

生産增强の問題

第三八號

調査部

東方問題研究所

509.1  
7024

## 生産増強の問題

調査部

(一)

大東亞戦争第二年月を迎えて、愈々益々生産増強の問題が重大化してゐる。この生産増強の問題は、勿論今日の世界的大變革の時代が到来したときから、既に早くも識者の注目するところとなり、これに對しても種々な卓説が論述され主張されたのであつたが、當時に於ては世界的大變革の様相が稍々漠然としてゐた爲めに、それほど痛切に一般的には意識されなかつたのである。従つて、生産力増強に對する施設も、云はば革新といふ様な觀點からのみ攻究されてゐたと云つてよい。

ところが、昨今に至つては問題は全く現實化し、切實化してゐるのである。生産擴充問題は單なる革新といふやうな題目に關聯して論ぜられるには、餘りにも切實化してゐるのである。革新などといふものを遙かに乗り越えてゐる。それらの遊戯的なものを超越してゐるのである。即ち生産増強は革新のためにはなく、實に明日の、否今日の戦争に勝つために絶対不可缺の條件となつて來てゐるのである。所謂決戦に次ぐ決戦、決戦の連續なるの様相を呈してゐる今日の大東亞戦争に於て、勝利を得るためには、生産増強は絶対不可缺の條件なのである。従つて生産増強問題は、皇國の興廢と共に密接に關聯せしめられてゐるのである。そして、それ故に生産増強に反する行爲をなすものは、實に皇國に對する不義を意味するといふ嚴肅なる段階に立ち至つてゐることを忘れてはなるまい。

斯様にして、生産増強の問題はいまや、全く從來とは異つた立場から、また非常に重要視されねばならぬ段階に到達してゐるのであつて、苟しくも生

産増強を論ずるものは、正に國家的立場からのみ論ずべきである。單なる感情の問題から論ずべきではない。また非常に偏つた、小さな觀點からのみ論ずべきでは決してないのである。苟しくも今日、生産増強の問題を論ずるには、純國家的立場に立ち、且つ大局的觀點から論じなければならぬと思はれるのである。

以下些さか、斯様な立場から若干生産増強問題を論究して見度いと思ふのである。

(11)

生産増強の問題は、何よりも先づ敵國のそれとの比較から始まる。敵國たる米英の生産増強力が昨今非常に増大したと傳へられ、色々な具體的な様相が新聞紙上に現はれてゐる。アメリカのそれは過去一年間に於て、相當のものである様に感ぜられる。飛行機の如きは四萬九千機、商船八百四十萬トンといふ様な數字も散見してゐる。そして、斯様な數字を見て、我が國も大いに生産増強に邁進せねばならぬと言はれてゐる。

だが、考へて見るとアメリカの斯様な生産力は、我々にとつては既知の事實である。戦前から既にアメリカの生産力の大體は、我々にとつては常識であつたのである。従つて、斯様な點に就いては、我々は今更ら驚く必要は毛頭ないのである。斯様な生産力をもつアメリカと、さらにイギリスをも加へて、敢へて敵國として戦争を開始したのであつて、此處に大東亞戦争の意義があるのである。彼等が世界歴史の當然の進展を阻止することによつて大なる生産力を獨占しつゝある。斯様な現状こそ、大東亞戦争に於て打破されねばならぬところのものである。従つて、如何にアメリカが自國の生産力を誇示しやうとも、何ら驚くに足らぬと共に、また我々はそれ故に米英を打倒しなければならぬことを、一層強く決意させられるのであることを忘れてはなるまい。

それにアメリカの發表する數字が、必ずしも正しいものではないといふこ

017  
25

ともある。數字は正に數字たる許りでなく、宣傳の役割をなさしめられてゐることを知らねばならぬ。我々の見るところでは、現にアメリカが盛んに發表し誇示してゐる數字には、詐はりありと思はれる。それに數字をもつて戦争を有利に導かうとするのは既に舊式の戦法と云はねばならない。

今日の世界的大變革が起る前には、盛んに數字的宣傳が米英佛その他の舊體制國家で行はれた。鐵だ石炭だ何だ彼だと、彼等は盛んに數字をもつて國力を誇示したものであつたが、それが全然國力の眞價を評價してゐるものではないことを暴露したてはないか。數字的宣傳が國力を決して示すものではないことが、現實に於て證明されたのは、そう遠い昔してはないのである。従つてアメリカが今更らの如く數字的宣傳をしたからとて決して驚くには足らぬと云はねばならないのである。

然し乍ら、そうだからと云つて、生産増強問題を等閑に附するなどは絶對に出来ないことである。何にもアメリカが生産するだけ生産せねばならぬといふわけではない。けれども、アメリカ生産力の増強につれて、我が國のそれも増強されねばならない。皇國の目的を達成するために必要なだけの生産はなさねばならない。それがアメリカ生産力の何割になるかは知らぬけれども、それだけは是非とも増強されねばならぬことは勿論である。

而かも、先述せる通りな事情であるから、ことは正に急を要するのである。生産増強といふ問題は、時間といふ問題と密接に結びつけられてゐるのである。急速に、速やかに迅速にといふ様な時間的意義を没却した生産増強は無意味である。迅速、急速なる生産増強、これが今日の命題でなければならぬ。

だが、この時間の問題は決して生ま易しい問題ではない。只急げばよいといふわけの問題ではない。急げば、生産が増強すること確實といふ意味の急ぎ方でなければならぬのである。従つて、生産増強の具體策は時間の問題と密接に結びつけられてゐる、許りてなく、慎重さとも結びつけられてゐる。

換言せば、生産増強の問題は、先づ増強の順序、重點その他に就いて周到でなければならぬと考へられる。

一體今日の生産力は増大といふよりは、ともすれば低下せんとする重大なる問題の前に置かれてゐる。従つて、我々は生産増強の問題を解決するためには、何よりも先づこの低下の傾向を喰ひ止めねばならないと思ふのである。何よりも先づ、生産力の現状を維持せよと云ひ度いのである。

それには如何にすればよいかと云ふに、先づ第一には此の忌むべき低下の傾向を生み出してゐる一切の原因を除去せよと呼び度い。一體如何なる原因が斯様な傾向を生み出してゐるのか。これを炯眼にも捉えて、そして或る種の原因はこれを除去し、或る種の原因はこれを訂正修正する必要があるのである。そして、何よりも先づ生産力の現状維持に成功しなければならぬ。

そして次に増強である。低下せんとする傾向を除去したならば、次には急速に増強策を施すべきである。そして、それは先づ生産力の増強を阻止しつつある諸要素を撤去する必要がある。

この生産の増強阻止の諸要素は、これを列挙すれば頗る多い。いまその若干を次に述べて見やう。

### (三)

#### (一) 統制機構の不備

統制機構の不備は既に一般に論ぜられてゐるから、具體的に詳細に觸れることを避けたい。勿論統制機構は漸て改善せられて來たのであるが、しかしまだ中途半端のものが多し。例へば一元的統制機構の如きがそれである。一體一元的統制といふと、評判が悪いやうであるが、しかしそれは一元的統制が完全に實現してゐないからなのである。本當に現實的に一元統制が爲されてゐるならば、一元統制に對する今日の批評は決して當らないのであると思はれる。一元的統制と稱して、徹底的に一元的統制を行はないうところに、今日の一元的統制に對する批判が現はれて來てゐるのである。だから、

我々は一元的統制が十全に徹底されることを希望するのである。一元的統制が不徹底のために生ずるところの批判の故に、我々は一元的統制に反對するのではない。飽くまでも統制を一元化せよ、然らば今日行はれてゐる。一元的統制に對する批判は雲散霧消するであらうと思はれる。

また統制機構の不備の一つとして擧げたいのは、現下の統制機構が法律的行政機構によつて形成され動員されてゐることである。少くとも、法律的、行政的なものが經濟統制の中心となつてゐる。そして、このことが生産力の増強を阻害してゐること大である。従つて、統制機構は生産中心の統制機構に変更する必要がある。生産が向上するやうに、生産向上を促進するといふ建前から、行政も法律も立案され實施されねばならないと思はれるのである。それは今日生産増強といふ問題が、從來の如き意味から一變して、正に國家の興廢に關係するやうな段階に立ち至つた結果として、當然要請さるべきものと考へられるのである。生産中心の生産統制機構の樹立である。正に斯く在るべきであると思ふ。

#### (二) 質の低下

今日大量生産が大聲叱呼されてゐる。殊にアメリカの生産數字が大量生産を示唆してゐるので、この聲が特に高いやうである。ところが、この大量生産力の樹立を阻止してゐるものがある。それは、現在に於ける生産物の質の低下である。

周知の通り、今日の生産物の質の低下は、正に憂ふべき點に迄達してゐるのである。一切の商品を見よ。質の點に至つては、往年のそれに比べて非常なる低下である。原材料に於ても同様である。これでは、今後如何に大量生産が可能になつても、生産力の増強は現實化することは不可能であると云はねばならない。例へば、悪質劣質の熱量エネルギーの少ない石炭は、幾百萬トンあつても、製鐵燃料としては使用できないではないか。斯様な石炭では製鐵は不可能なのである。また、悪質劣質の原材料によつて生産され製作

されたところの所謂生産要具は、これまた當然に悪質劣質であるがために、本格的生産にこれを使ふことは出来ないではないか。従つて生産力増強に當つて、大いなる障害となつてゐるのは、一切の原材料、一切の生産要具その他の悪質と劣質とであると云はねばならない。生産増強には、先づこの質の向上を促進せねば駄目である。そして、それには嚴重なる規格統一と規格検査とである。これなくして、大量生産は不可能であると云はねばならない。

(三) 第三には、枝葉末節的な増産方法が、生産力増強を阻止してゐることを忘れてはなるまい。一體今日の生産増強といふ問題は、既に述べたる様に、國家興廢の問題と關聯してゐるのである。この問題は、それ故にその重點に於て軍需品の生産力増強の問題に外ならぬ。生産力増強とは、これを具體的に云へば、軍需生産力増強なのである。これを忘れてはならない。例へば、アルミニウム、鐵の増産は、これは取りも直さず飛行機といふ軍需品、武器の増産と直接的に關聯してゐるのである。それは決して、鍋や釜などの生産と關聯してゐるのではないのである。このことは、鐵に於ても、銅に於ても、その他に於ても然りである。鐵の扉さへも應召してゐるのに、鐵の生産を鐵瓶生産と考へるなどは正に狂氣の沙汰と云はねばならない。従つて、アルミニウム、鐵、銅その他の生産増強の政策は、軍需品生産政策と密接に結びつかねばならない。例へば、その生産量に於て、生産品の規格に於て、生産の立地に於て、その他すべてに於て、軍需品生産中心に計畫されねばならぬのである。ところが、從來まではこの點に於て遺憾な點が少なからずあつたことは否定できない。そしてまた、この枝葉末節的な生産増強策が眞の意味の、また現在の國家が要請して止まざる種類の生産増強を阻害して來たのである。この點に於て、今後は重大なる改良が必要であらうと思はれる。

(四) 生産業者に生産に従事せざるものが負擔をかけてゐる點が、生産増強を阻止してゐる。云ふまでもなく、生産は生産者が擔當せねばならぬものである。従つて、生産力の増強には生産業者が、充分にその努力と創意とを傾投する。生産増強を阻害して來た。

#### (五) 徴用工制度の不備

この點に就いては、既に多くの人々が意見を述べてゐるから多くを述べる必要を認めないが、要するに徴用工をして國家のために、意識的に勞務し得るやうな精神的陶冶が必要であると共に、彼等の勞務が眞に意義あることを自認し得るやうな状態と條件を作り出すことにあるのである。若しそれこれに成功すれば、生産力を阻止して來た大きな障害は除去されることになるに違ひない。

尙ほその他、生産力増強を阻止しつつある諸要素が數多くあるが、この點に就いては大體以上に止めて置き度い。

ところで、斯様な生産増強力阻害の諸要素は如何なる影響を通じて、生産増強を阻害してゐるのであらうか。これに就いては、以上に於ても若干觸れて來たが、第一は生産費の騰貴であらう。

この生産費の騰貴は、生産に直接従事せざるものへの高率支拂とか、石炭その他の原材料の悪質に起因するもの、徴用工その他の能率不充分、高能率技術の不充分なる普及等の結果として現はれて來てゐる。また、これと略々同様のものが原因として、生産能率の低下をもたらしつつあるものと考へられる。

#### (四)

そこで生産増強策として先づ採用せねばならぬ政策は、生産物の質と量とを現在以下に下落せしめないといふ政策である。

小玉美雄氏はダイヤモンド誌上に於て、次の如く書いて居られる。生産擴充を欲する場合には生産の整備をせねばならぬ。生産の型を定めて少くとも

今迄の凡ゆる生産を確保することが必要である。生産は常に質と量とを伴ふこの何れを低下しても生産擴充は出来ない。品質を低下せしめず、生産量を減少せしめずして、在來の生産を維持することが、生産擴充の最低限界である。先づこの目的に對してあらゆる努力を盡さねばならぬ。

然らば、そのためには如何なる政策をとるべきであらうか。同氏は云ふ、「そのためには規格の定め方と價値の定め方と注文の仕方と税金の取り方が殊に大きな役割を演ずる。更に生産を阻止する原因を壓縮するか又は、排除せねばならぬ。例へば、輸入原料の乗替、國產原材への切替、代用原料への指導、生産に協力しない方面からの勞力の補給、運賃、金利等々に對する問題の解決である」。

斯様にして、先づ今日の重大問題たる生産增強策へ第一歩を踏み出さねばならない。そして次には、能率の増進であり、そして次に愈々増産といふことになる。國民の言を次に引用する。

「質と量が下落しない見込みがついた時に、次に考へなければならぬ問題は能率の増進である。同じ原料と同じ手間を掛けて、歩留りを良くする、即ち無駄をなくする。又同じ設備を上手に使用してより多くの原料を消化して製品の出來高を多くすることである。尙最後の段階は製品の品質を良くすることである、品質を向上させることは、もつとも能率の良い最高度の生産擴充である。同じ原料と同じ手間を掛けて、より良い品質のものを造り、其の物の效力又は壽命が倍になれば、生産はロハで二倍に擴充されることになる。而も材料と手間が省かれる。以上で生産の型がきまる。そこで次に増産計畫を立てて建議をしなければならぬ。以上の事柄が、順序よく、又は同時に併行して實行されて、初めて生産は滞りなく擴充されるのである。」

斯様にして、現下の重大問題たる生産擴充の問題は、急速に解決されねばならない。だが斯様な生産增強政策を樹立するには、相當強力にして適確なる戰時政治が必要であることは云ふまでもない。勿論日本とドイツとはその

事情を異にするのであるから、この點に充分留意しなければならぬが、かのドイツが生産擴充を遂行するために、生産を阻止する原因となり、物價を高くするところのもの、即ち運賃であるとか、金利であるとか、或は配當、償却費などを極力壓縮した。また、生産に何んらの經驗もなく、生産擴充に協力しやうともしなかつた數多くの經濟研究所——これらは只徒らに口舌を振るつてあれこれと駄辯を弄し乍ら得意となつてゐたものである——また生産業者を搾取することによつて生活をしてゐたところの所謂ユダヤ人或はユダヤ的ドイツ人を國外に追放したのであつた。そしてそれらの結果としてドイツの生産力が急速に向上したのである。

勿論現在の日本としては、何にもドイツを眞似る可くして眞似る必要などは毛頭もない。然し乍ら、現在の日本を大觀して見て、生産增強の立場から云つて、經濟界から生産を阻害し、生産に何ら寄與しない多くの分子を排除するといふことは必要なのではないか。勿論官僚の生産に對する無經驗から來るところの生産阻害も、これまた大いに修正し排除しなければならぬところのものではある。然し乍ら、それと同時に、現在生産に従事してゐる領域に於て、即ち生産の場面に於て、生産を阻害してゐる諸要素や、人的構成があることも斷じて忘れてはならないと思ふ。これらの點も合はせて考慮し計畫を樹てる必要がある。

而かも、これらの生産阻害の諸要素の排除には、相當の力が——政治力が發動しなければならぬといふのが、今日の常識である。最近、日商會議所で生産增強案を作製し、海陸軍、企畫院、商工省などに建言したと傳へられてゐる。いまその案を一見すると、軍需省、或は生産省とも云ふべき官廳を設置し、ここで強力に綜合的に一元的に、生産增強を圖るといふのがその規ひ所らしいけれども、それで果して行くか如何か。もつと強力な、もつと大所高所から、生産增強を指導し、計畫し、實施させて行くものが必要なのではないだらうか。

一〇  
昨今統制緩和すれば、生産増強が出来るなどの駄辯を弄するものがあるが  
誠に思はざるも甚しきものである。

製本控

919	面	435	號	年	月	日
各處 増強 同日 既						
備	考					

1

917  
435



5091  
1024

昭和十七年十二月二十三日印刷納本  
昭和十七年十二月二十五日發行

(非賣品)

發行人

東京市赤坂區溜池町三〇番地  
齋藤直幹

印刷人

東京市芝區南佐久間町一ノ七  
中川二郎

印刷所

東京市芝區南佐久間町一ノ七  
研文社

發行所 東京市赤坂區溜池町三〇番地  
東方問題研究所

電話赤坂(48)二二〇〇七番  
出版文協會員番號三二〇一二七番  
印刷發行承認番號ア三三〇一〇七

終

